

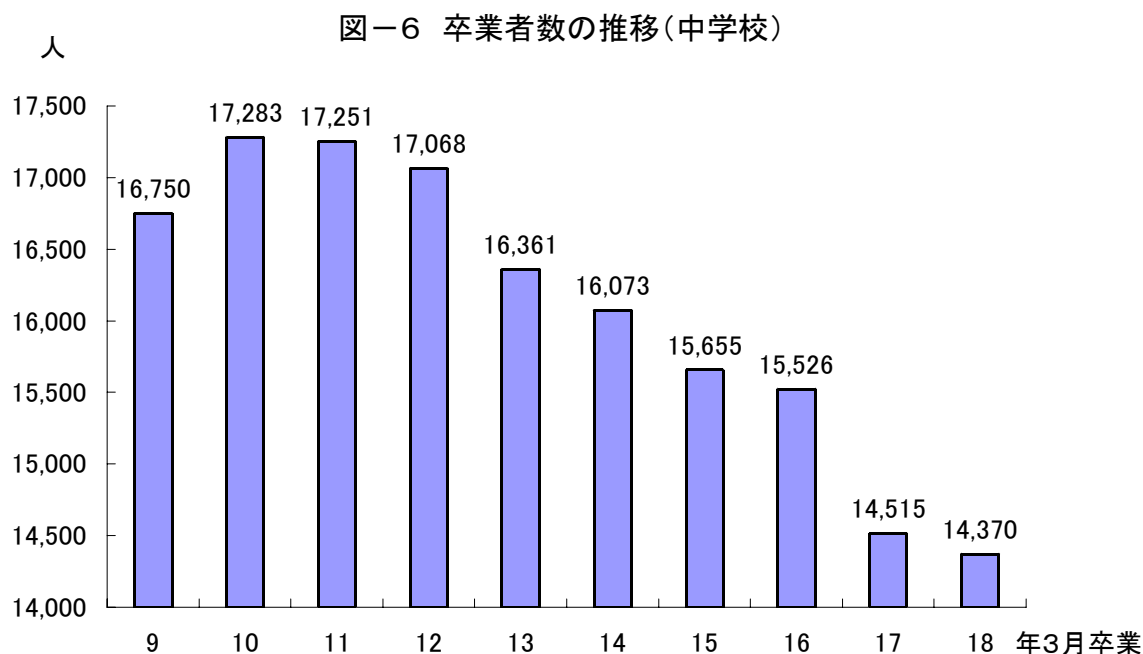
C 卒業後の状況調査

1. 中学校卒業者とその進路状況

(1) 卒業生数

平成18年3月の中学校卒業生数は14,370人(男子7,309人、女子7,061人)で、前年より145人(男子104人減、女子41人減)、1.0%減少しました。

卒業生を進路別にみると、高等学校等進学者(進学しながら就職している者を含む。以下同じ。)は14,084人(男子7,146人、女子6,938人)で、卒業生全体に占める割合は98.0%(前年98.2%)、専修学校(高等課程)進学者は7人(男子3人、女子4人)で0.0%(前年0.0%)、専修学校(一般課程)等入学者は1人(女子1人)で0.0%(前年0.0%)、公共職業能力開発施設等入学者は23人(男子22人、女子1人)で0.2%(前年0.1%)、就職者は83人(男子51人、女子32人)で0.6%(前年0.5%)、左記以外の者は169人(男子86人、女子83人)で1.2%(前年1.1%)、死亡・不詳は3人(男子1人、女子2人)で0.0%(前年0.0%)となっています。



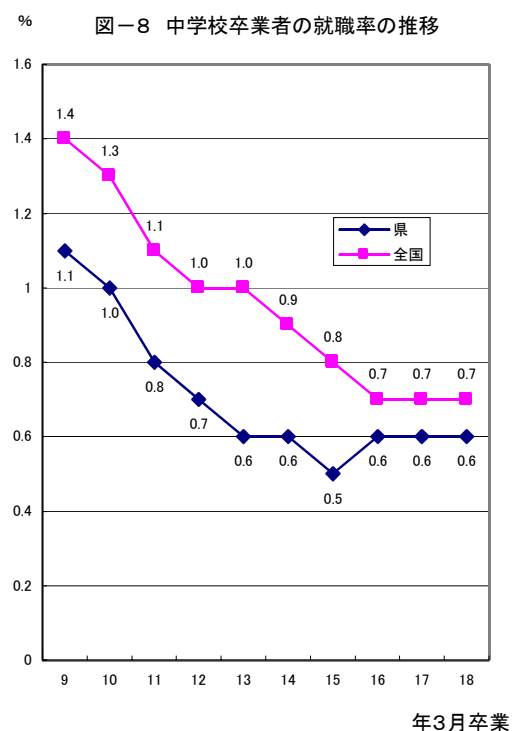
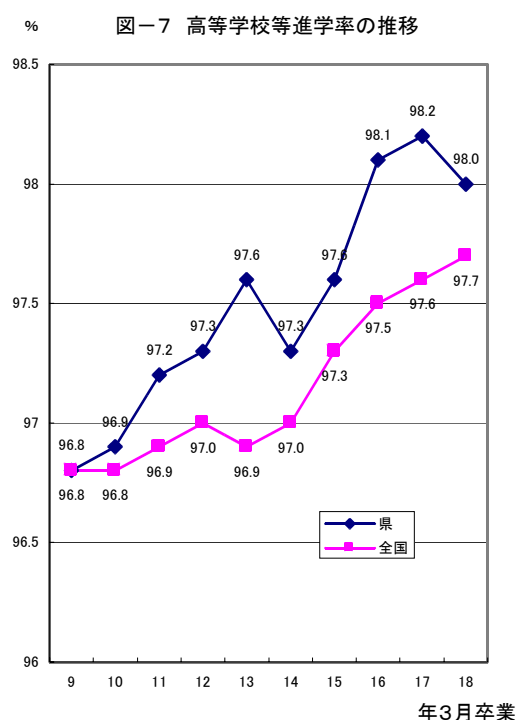
(2) 高等学校等進学者数

高等学校等進学者は14,084人(男子7,146人、女子6,938人)で、前年より168人減少(男子120人減、女子48人減)しました。高等学校等進学率(卒業生全体に占める高等学校等進学者の割合)は98.0%で、前年より0.2ポイント低下しました。これを男女別にみると、男子は97.8%で前年より0.2ポイント低下、女子は98.3%で前年より0.1ポイント低下しました。

また、全国平均97.7%(男子97.4%、女子98.0%)と比べると、全体で0.3ポイント、男子で0.4ポイント、女子で0.3ポイントそれぞれ上回りました。高等学校通信制課程への進学者を除く高等学校等進学率は96.3%で、前年より0.3ポイント低下しました。

高等学校等進学者の内訳をみると、高等学校の全日制課程13,330人(高等学校等進学者全体の94.6%)、定時制課程301人(同2.1%)、通信制課程252人(同1.8%)、高等専門学校75人(同0.5%)、盲・聾・養護学校の高等部126人(同0.9%)となっています。また、これらのうち、他県への高等学校等進学者は893人(男子482人、女子411人)で、高等学校等進学者全体の6.3%を占めています。

次に、高等学校等への入学志願者数(ただし、高等学校の別科、通信制課程および盲・聾・養護学校高等部別科を除く)は13,875人(男子7,055人、女子6,820人)で、卒業生全体に占める割合(高等学校等進学志願率)は96.6%となり、前年より0.4ポイント低下しました。さらに、この入学志願者のうち実際に高等学校等へ進学した者(13,832人)の割合(入学率)は99.7%で、前年より0.2ポイント上昇しました。



(3) 専修学校(高等課程)進学者数

専修学校(高等課程)進学者は7人(男子3人、女子4人)で、前年より4人増加(男子1人増、女子3人増)しました。卒業生全体に占める割合は0.0%で、前年と同率でした。

(4) 専修学校(一般課程)等入学者数

専修学校(一般課程)等への入学者は1人で、前年より1人増加しました。

(5) 公共職業能力開発施設等入学者数

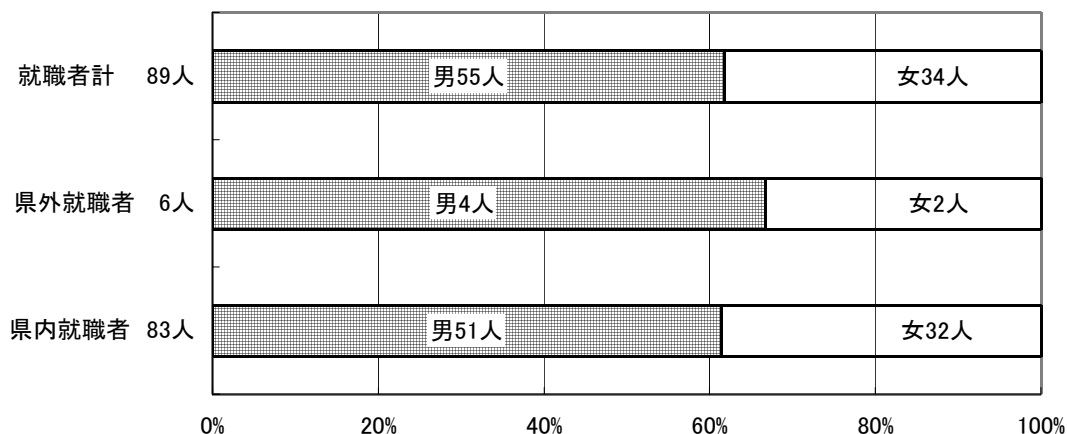
公共職業能力開発施設等への入学者は23人(男子22人、女子1人)で、前年より3人増加(男子4人増、女子1人減)しました。卒業生全体に占める割合は0.2%で、前年より0.1ポイント上昇しました。

(6) 就 職 者 数

就職者 83人(男子51人、女子32人)に、高等学校等に進学しながら就職している者(高等学校等進学就職者) 6人(男子4人、女子2人)を加えた就職者総数は 89人(男子55人、女子34人)で、前年より2人増加(男子3人増、女子1人減)しました。

卒業生全体に占める割合(就職率)は0.6%(男子0.8%、女子0.5%)で、前年と同率(男子は0.1ポイント上昇、女子は前年と同率)でした。

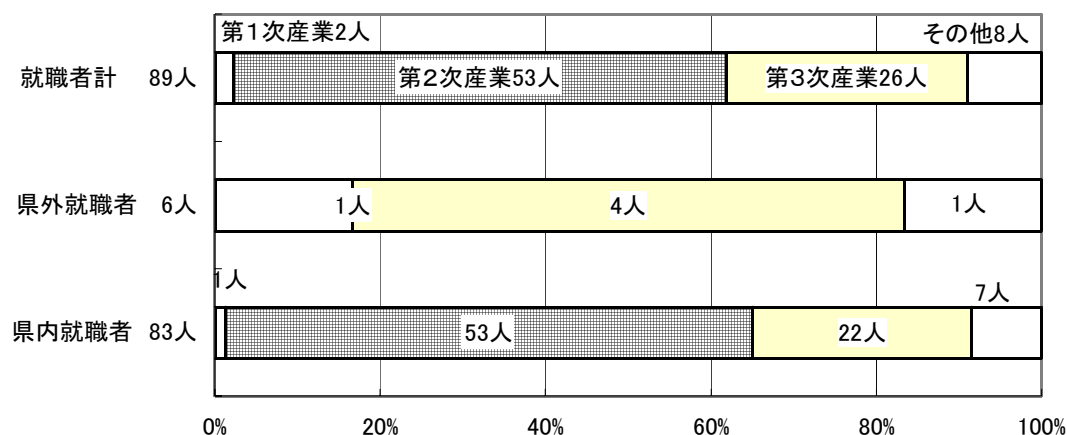
図－9 就職先別・男女別就職者数(中学校)



また、就職者のうち県内に就職した者は83人(男子51人、女子32人)、県外に就職した者は6人(男子4人、女子2人)でした。県外就職率は6.7%となり、前年より0.2ポイント低下しました。

次に、就職者を産業別にみると、第1次産業に就職した者は2人で就職者全体に占める割合は2.2%(前年5.7%)、第2次産業に就職した者は53人で59.6%(同48.3%)、第3次産業に就職した者は26人で29.2%(同42.5%)等となっています。

図－10 産業別就職者数(中学校)



2. 高等学校卒業生とその進路状況

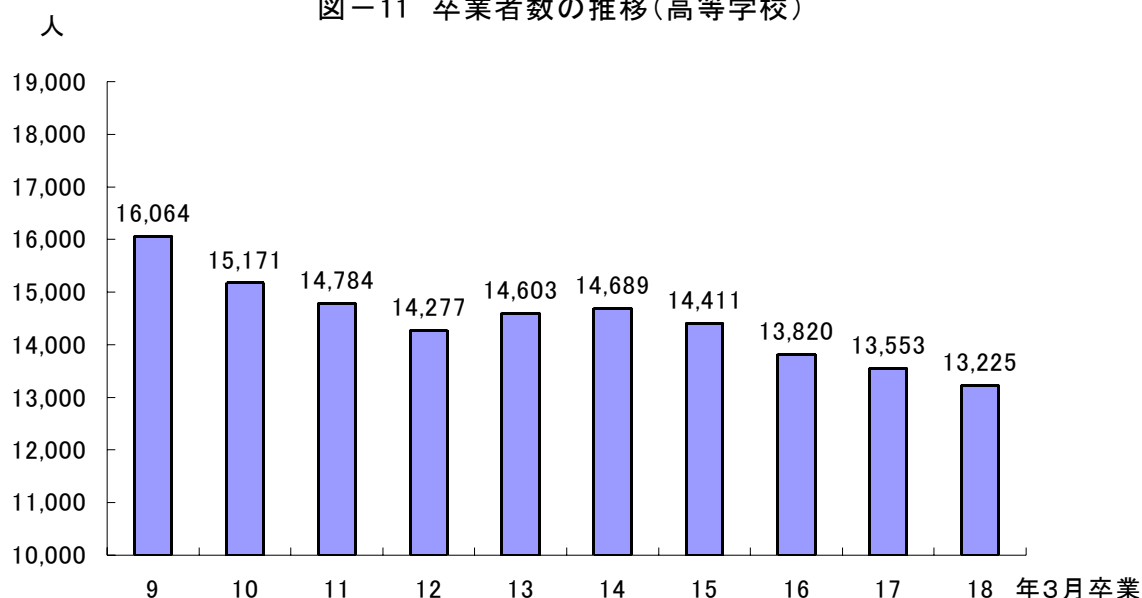
A 全日制・定時制課程

(1) 卒業生数

平成18年3月の高等学校卒業生数は13,225人(男子6,694人、女子6,531人)で、前年に比べ3,288人(男子1,511人減、女子1,777人減)、2.4%減少しました。

卒業生を進路別にみると、大学等進学者(進学しながら就職している者を含む。以下同じ。)は7,084人(男子3,474人、女子3,610人)で、卒業生全体に占める割合は53.6%(前年52.1%)、専修学校(専門課程)進学者は2,240人(男子963人、女子1,277人)で16.9%(前年17.8%)、専修学校(一般課程)等への入学者は605人(男子428人、女子177人)で4.6%(前年4.7%)、公共職業能力開発施設等入学者は105人(男子90人、女子15人)で0.8%(前年0.8%)、就職者は2,232人(男子1,317人、女子917人)で16.9%(前年16.3%)、一時的な仕事に就いた者は324人(男子102人、女子222人)で2.4%(前年2.9%)、左記以外の者は635人(男子320人、女子315人)で4.8%(前年5.4%)、死亡・不詳は0人(前年0人)となっています。

図-11 卒業生数の推移(高等学校)



(2) 大学等進学者数

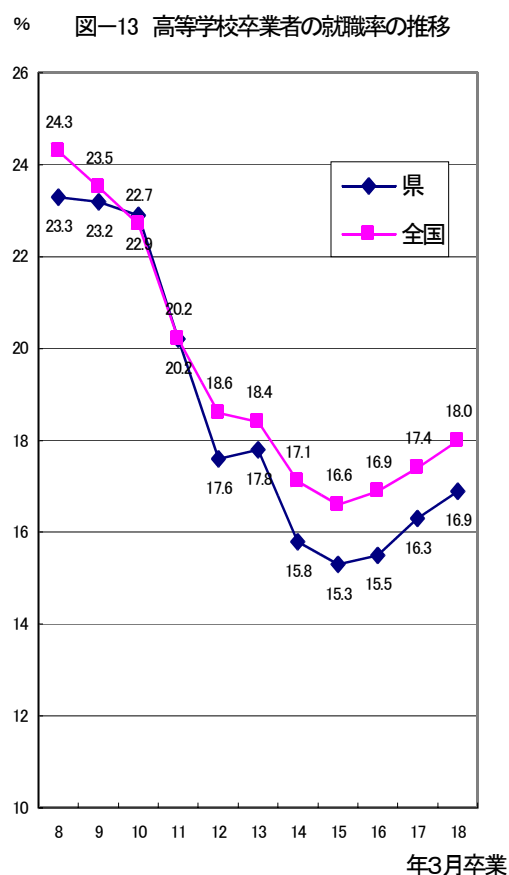
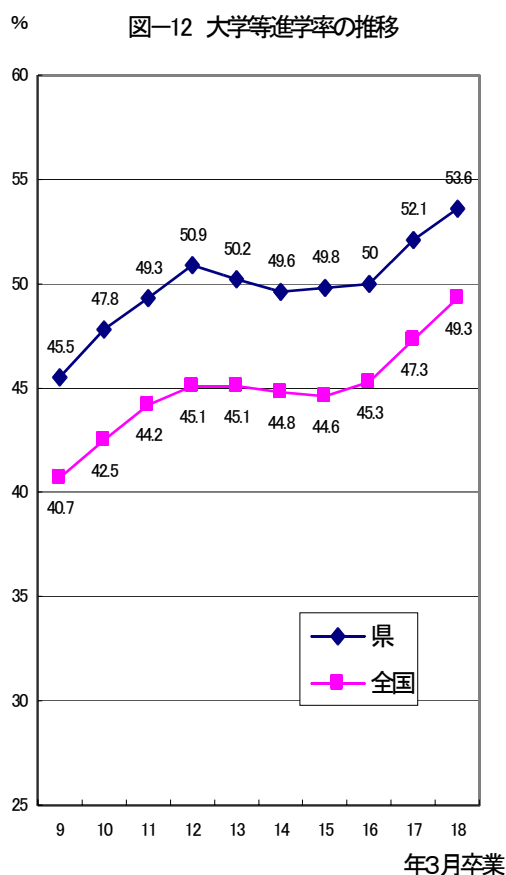
大学・短期大学等へ進学した者は7,084人(男子3,474人、女子3,610人)で、前年より29人増加(男子23人減、女子52人増)しました。大学等進学率(卒業生全体に占める大学等進学者の割合)は53.6%で、前年より1.5ポイント上昇しました。これを男女別にみると、男子は51.9%で前年より0.8ポイント上昇し、女子は55.3%で前年より2.3ポイント上昇しました。全国平均の49.3%(男子48.1%、女子50.6%)と比べると、全体で4.3ポイント、男子で3.8ポイント、女子で4.7ポイントそれぞれ上回りました。大学等進学率は、全国で10位(前年9位)に位置しています。

大学等進学率の全国順位		
第1位	京都府	61.3%
第2位	東京都	59.0%
第3位	広島県	56.8%
第4位	兵庫県	56.0%
第4位	奈良県	56.0%
第6位	愛知県	55.7%
第10位	滋賀県	53.6%
第43位	青森県	38.2%
第44位	北海道	38.0%
第45位	熊本県	37.9%
第46位	岩手県	37.2%
第47位	沖縄県	33.6%

大学等進学者の内訳をみると、大学学部5,637人(進学者全体の79.6%)、短期大学本科1,446人(同20.4%)、大学・短期大学の通信教育部1人(同0.0%)となっています。

また、これを男女別にみると、男子では大学学部への進学者が3,297人で、大学等進学者全体の94.9%、短期大学本科への進学者が177人で5.1%、女子では大学学部への進学者が2,340人で64.8%、短期大学本科への進学者が1,269人で35.2%となっています。

卒業者のうち大学学部・短期大学本科への入学志願者は、大学学部が6,544人(男子3,893人、女子2,651人)、短期大学本科が1,491人(男子189人、女子1,302人)の合計8,035人(男子4,082人、女子3,953人)で、そのうち、実際にその学校へ入学した者の率(入学率)は、大学学部が86.1%、短期大学本科が97.0%となっています。



(3) 専修学校(専門課程)進学者数

専修学校(専門課程)進学者は2,240人(男子963人、女子1,277人)で、前年より174人減少(男子85人減、女子89人減)しました。卒業生全体に占める割合は16.9%で、前年より0.9ポイント低下しました。

(4) 専修学校(一般課程)等入学者数

専修学校(一般課程)等への入学者は605人(男子428人、女子177人)で、前年より34人減少(男子26人減、女子8人減)しました。卒業生全体に占める割合は4.6%で、前年より0.1ポイント低下しました。

①専修学校(一般課程等)

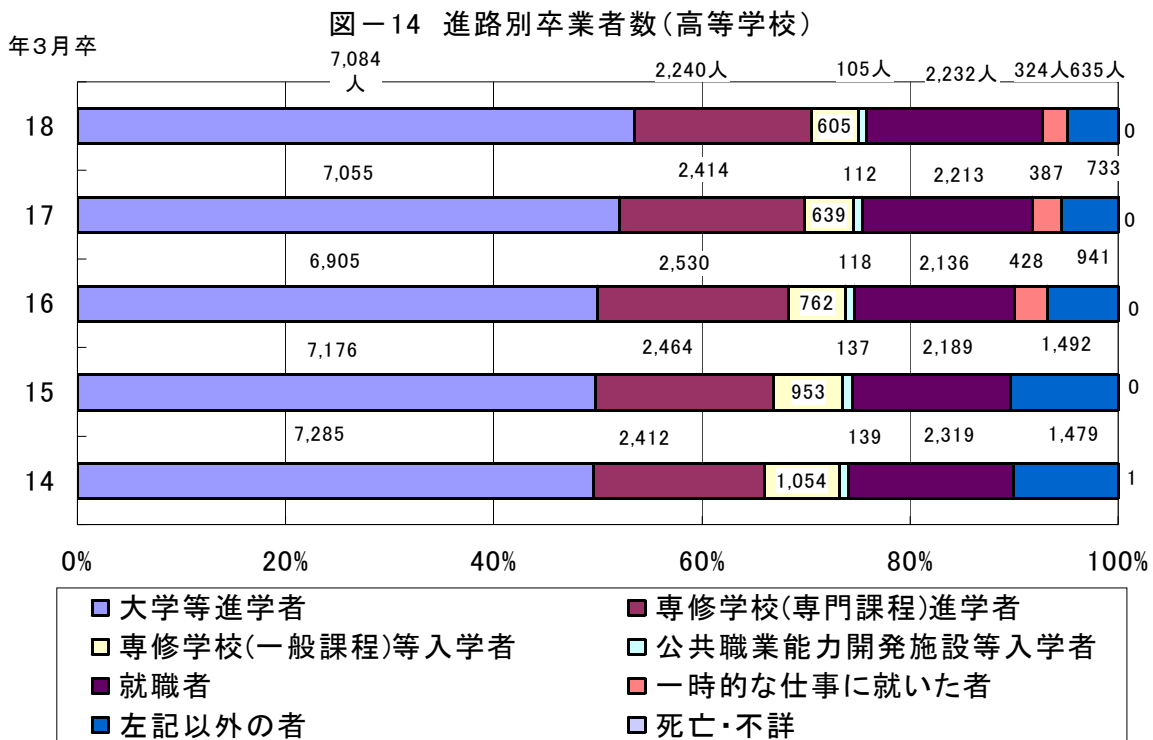
専修学校(一般課程等)への入学者は72人(男子50人、女子22人)で、前年より13人増加(男子11人増、女子2人増)しました。卒業生全体に占める割合は0.5%で、前年より0.1ポイント上昇しました。

②各種学校

各種学校への入学者は533人(男子378人、女子155人)で、前年より47人減少(男子37人減、女子10人減)しました。卒業生全体に占める割合は4.0%で、前年より0.3ポイント低下しました。

(5) 公共職業能力開発施設等入学者数

公共職業訓練施設等への入学者は105人(男子90人、女子15人)で、前年より7人減少(男子5人減、女子2人減)しました。卒業生全体に占める割合は0.8%で、前年と同率でした。



(6) 就職者数

就職者数は2,232人(男子1,317人、女子915人)で、大学・専修学校等へ進学・入学しながら就職している者が0人であることから、就職者総数も2,232人となっています。前年より19人増加(男子62人増、女子43人減)しました。

就職率は16.9%(男子19.7%、女子14.0%)で前年より0.6ポイント上昇しました。全国平均の18.0%(男子20.5%、女子15.4%)と比べると、全体で1.1ポイント下回りました。就職率は、全国で34位(前年35位)に位置しています。

就職率の全国順位		
第1位	宮崎県	31.7%
第2位	秋田県	31.6%
第2位	佐賀県	31.6%
第4位	青森県	31.0%
第5位	岩手県	30.9%
第34位	滋賀県	16.9%
第43位	大阪府	12.2%
第44位	奈良県	11.1%
第45位	京都府	9.8%
第46位	神奈川県	9.5%
第47位	東京都	7.0%

①産業別就職者数

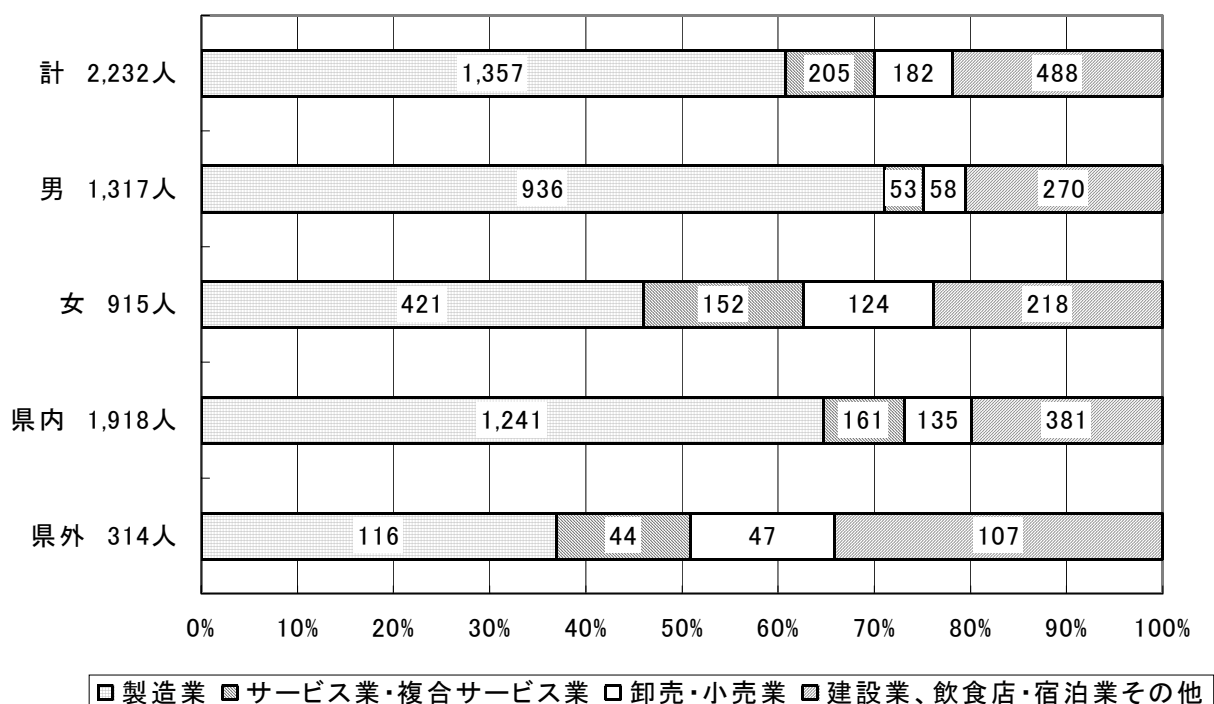
産業別に就職者数をみると、製造業 1,357人(就職者全体に占める割合60.8%)、卸売・小売業182人(同8.2%)、サービス業172人(同7.7%)、建設業138人(同6.2%)、飲食店、宿泊業104人(同4.7%)、医療、福祉62人(同2.8%)、運輸業55人(同2.5%)、公務51人(同2.3%)などが主なものとなっています。

次に、男女別にみると、男子では製造業71.1%、建設業7.9%、卸売・小売業4.4%などとなっています。これに対し、女子では製造業46.0%、卸売・小売業13.6%、サービス業13.4%となっており、男子と比べサービス業、卸売・小売業の比率が大きくなっています。

さらに、県内・県外別にみると、県内では、製造業が64.7%と6割以上を占め、次いで、卸売・小売業が7.0%、サービス業が6.7%の順となっています。

これに対し、県外では製造業が36.9%、卸売・小売業が15.0%、サービス業が13.7%、運輸業が9.6%となっています。

図-15 産業別就職者数(高等学校)



②職業別就職者数

職業別に就職者数をみると、生産工程・労務作業員1,398(就職者全体に占める割合62.6%)、サービス職業従事者280人(同12.5%)、事務従事者205人(同9.2%)、販売従事者152人(同6.8%)などが主なものとなっています。

また、このうち最も多い生産工程・労務作業員の内訳をみると、製造・制作作業員1,307人(構成比93.5%)、採掘・建設・労務作業員53人(同3.8%)、定置機関運転・建設機械運転・電気作業員38人(同2.7%)となっています。

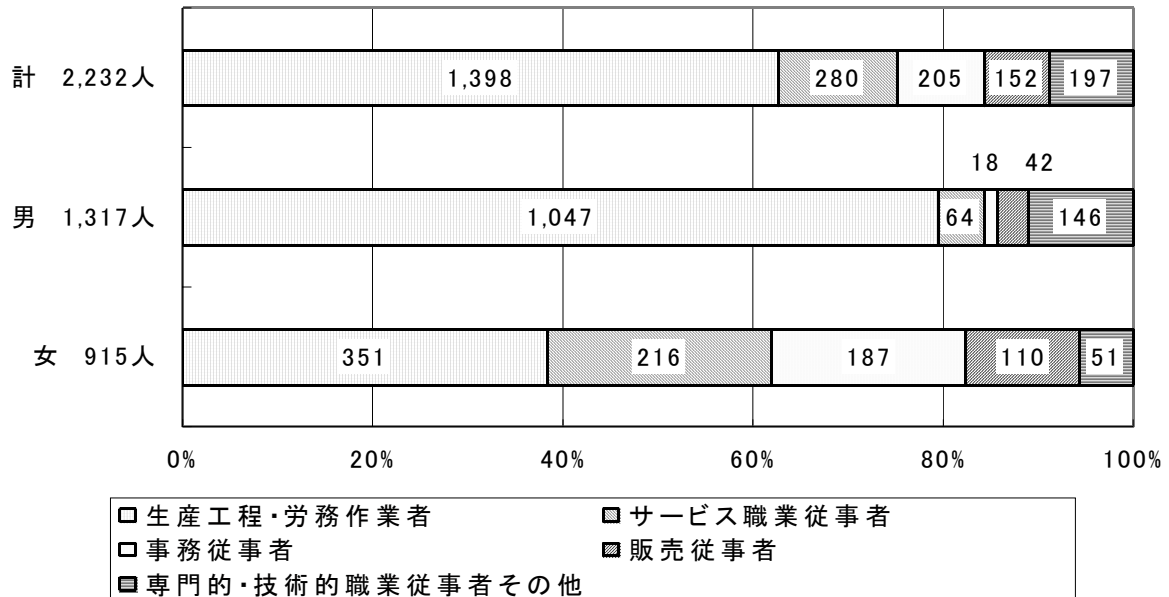
③就職先の都道府県別就職者数

就職者のうち県内に就職した者は1,918人(男子1,101人、女子817人)で、就職者全体の85.9%(男子83.6%、女子89.3%)を占めており、前年より0.8ポイント上昇しま

した。また、県外に就職した者は314人(男子216人、女子98人)で、就職者全体の14.1%(男子16.4%、女子10.7%)となっています。

なお、県外の主な就職先は京都府125人、大阪府91人、愛知県19人、東京都19人の順となっています。

図-16 職業別就職者数(高等学校)



B 通信制課程

平成17年度間の卒業生数は372人(男子187人・女子185人)で、前年度間より25人増加しました。卒業生の進路別内訳は、大学等進学者41人(男子20人・女子21人、卒業生全体に占める割合は11.0%)、専修学校(専門課程)進学者61人(男子29人・女子32人、同16.4%)、専修学校(一般課程)等入学者1人(男子1人、同0.3%)、公共職業能力開発施設等入学者4人(男子3人・女子1人、同1.1%)、就職者76人(男子44人・女子32人、同20.4%)、左記以外の者189人(男子90人・女子99人、同50.8%)、死亡・不詳の者0人となっています。

3. 盲・聾・養護学校卒業生とその進路状況

A 中学部

平成18年3月の卒業生数は盲学校3人(男子2人、女子1人)、聾学校2人(男子1人、女子1人)、養護学校89人(男子62人、女子27人)の合計94人で、前年より8人増加しました。卒業生の進路別内訳は、高等学校等進学者93人(男子65人、女子28人)となっています。主な進学先は盲・聾・養護学校高等部となっています。

B 高等部

平成18年3月の卒業生数は盲学校2人(男子2人)、聾学校4人(男子4人)、養護学校153人(男子80人、女子73人)の合計159人で、前年より1人減少しました。

卒業生の進路別内訳は、大学等進学者6人(男子6人、卒業生全体に占める割合3.8%)、専修学校(専門課程)進学者2人(女子2人、同1.3%)、公共職業能力開発施設等入学者3人(男子1人・女子2人、同1.9%)、就職者28人(男子16人・女子12人、同17.6%)、左記以外の者120人(男子63人・女子57人、同75.5%)となっています。